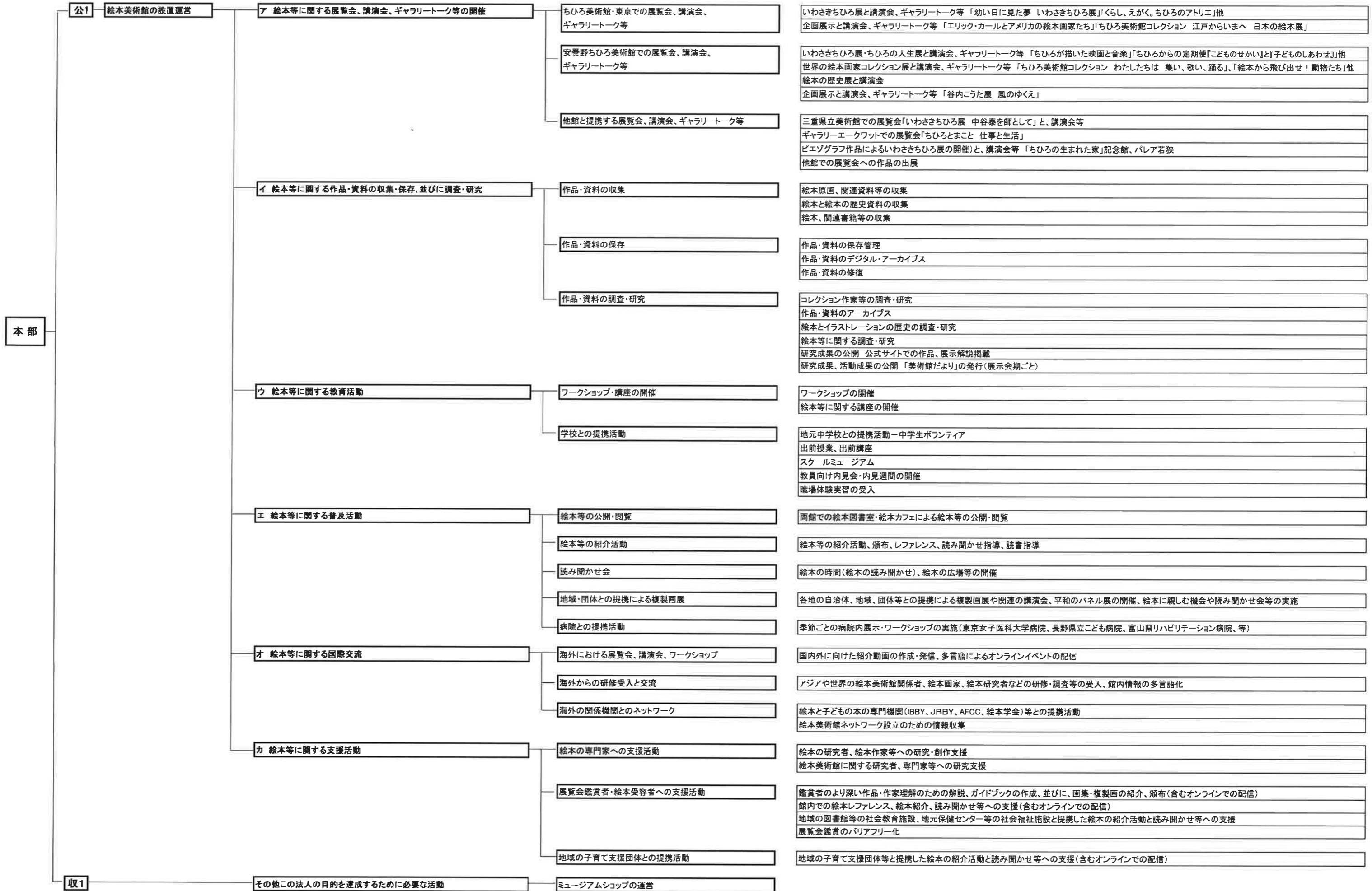


# 2022 年度 事業計画書

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

I	2022 年度事業計画 事業の体系図	.....	1
II	2022 年度事業計画一覧	.....	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団



事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
<b>公1 絵本美術館の設置運営</b>				
<b>ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催</b>				
<b>■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等</b>				
【いわさきちひろ展】	幼い日に見た夢 いわさきちひろ展	いわさきちひろは、両大戦間の東京・山の手で恵まれた少女時代を過ごした。その後、青春時代を戦争に翻弄されたちひろにとって、平和で豊かな子ども時代の思い出は、生涯、鮮明に心に刻まれていた。本展では、ちひろの幼少期に焦点をあて、ちひろが子ども時代に接した童画とそこから受けた影響、そして幼い日の思い出をテーマに、ちひろが手がけた絵本などを紹介する。	3月12日～6月19日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ・花に映るもの	「花」と「子ども」は、ちひろが生涯にわたり、繰り返し描いたテーマだった。55年の人生を歩むなかで、季節を表すモチーフから始まり、子どもやちひろ自身の心の機微、限りあるいのちの美しさを重ね、より自由に描くようになっていく。本展では、表現の変遷に焦点をあて、代表作や『戦火のなかの子どもたち』の習作などを通して、花と子どもの作品に映るちひろの心の軌跡を紹介する。	6月25日～10月2日	ちひろ美術館・東京
	くらし、えがく。ちひろのアトリエ	当館にはちひろの1972年当時のアトリエのようすが再現され、ちひろのくらしを今に伝えている。本展では、亡くなるまで22年を過ごした練馬の自宅のアトリエをはじめ、ちひろが画家として出発した神田の下宿や、1966年に信州北端の地に建てた黒姫山荘を紹介し、そこでちひろがどのように暮らし、絵を描いたのかを、作品やことば、資料などを通して紹介する。	10月8日～2023年1月15日	ちひろ美術館・東京
【企画展示】	エリック・カールとアメリカの絵本画家たち	2021年に91歳でこの世を去った絵本画家エリック・カール。その色彩豊かな絵本は世界中に知られている。本展では、カールの人生と絵本、ちひろ美術館との関わりなどを紹介する。同時に、当館コレクションより、アメリカで最古の絵本賞でもあるコールドコット賞受賞画家たちの作品を展示する。	3月12日～6月19日	ちひろ美術館・東京
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション 江戸からいまへ 日本の絵本展	日本で広く絵本（絵入り本）が読まれるようになったのは、印刷技術が進歩して版本が流通するようになった江戸時代のこと。本展では江戸時代を起点に、現代までの絵本の歩みと広がり、ちひろ美術館コレクションをもとに紹介し、およそ400年の間に日本の絵本がどのように変化し、発展したかを紹介する。	6月25日～10月2日	ちひろ美術館・東京
【講演会】	「江戸からいまへ 日本の絵本展」関連 講演会	外部講師を招聘し、研究者の視点から、当館のコレクションを軸として日本の絵本の歩みについて語る講演会を開催する（含むオンラインでの開催）。	展示会期中	ちひろ美術館・東京
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。（含むオンラインでの開催）	随時	ちひろ美術館・東京
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。（含むオンラインでの開催）	随時	ちひろ美術館・東京
<b>■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等</b>				
【いわさきちひろ展】	ちひろが描いた 映画と音楽	映画や音楽に若いころから親しんでいたちひろ。ちひろの感性を豊かに育み、ときに心の支えになっていた映画と音楽は、絵本の制作にも生かされている。本展では、ウェーバーのピアノ曲をイメージしてつくられた絵本『ふたりのぶどうかい』や、同名のフランス映画を絵本化した『あかいふうせん』などを展示して、映画や音楽と、絵本制作との接点を探る。	3月1日～5月29日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ 雨の日 晴れの日	ちひろは、季節や時間帯によって多彩な表情を見せる光や空、雨の情景を瑞々しい感性で描いた。四季の空の下で遊ぶ子どもを描いた作品、雨にうるむ『あめのひのおるすばん』、夏の光が輝く『ぼちのきたうみ』を展示、水彩のにじみを駆使した技法に注目する。	6月4日～9月4日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろからの定期便 「子どものしあわせ」と「こどものせかい」	ちひろは、人々の日々のくらしを彩る絵を描きたいと、印刷美術を発表の場にした。月刊の絵雑誌や雑誌でちひろの絵を定期的に楽しんでいた読者も多い。月刊誌のなかでも「子どものしあわせ」と「こどものせかい」は、制約が少なく自由に描けたことから、時代ごとの代表作が生まれた。同誌の仕事と印刷技術とあわせて紹介する。	9月10日～11月29日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像等により、ちひろの絵と人生、その人柄を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの仕事場	遺品・資料のアーカイブの成果を活かし、ちひろの人となりや伝わる愛用の品々を、ちひろ展や季節に合わせたテーマで紹介する。	通年(会期ごとに入れ替え)	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現や、ちひろの絵で楽しむトットちゃんの物語、トモエ学園の紹介など、トットちゃんの世界を子どもたちの目線で楽しむことのできる展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション わたしたちは 集い、歌い、踊る	2020年から現在に至るまで、わたしたちは世界的な感染症拡大を経験し、自由な行動や表現だけでなく、人と会うことまで制限されてきた。本展ではお祭りやパレード、さまざまな楽器を奏でるコンサートなどを描いた高揚感あふれる世界の絵本画家たちの作品を展示し、集うことの尊さ、歌い、踊ることの喜びを見つめる。	3月1日～5月29日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 絵本から飛び出せ！動物たち	地球上で、わたしたち人といっしょに生きる動物たち。変化に富んだ複雑な生息環境や、ときには人との関わりによって、多様な種に分かれた動物たちは、それぞれがユニークな特徴を持っている。本展では、世界各国の絵本画家が描いた動物たちを、かれらが暮らす環境をたどる6つのテーマにわけて紹介する。	6月4日～9月4日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 絵本画家の絵の具箱	技法や画材に注目し、世界の絵本画家の作品を紹介する。	9月10日～11月29日	安曇野ちひろ美術館
【絵本の歴史展示】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分けて紹介すると同時に、第二次世界大戦中の子どものための絵雑誌も展示する。	通年(会期ごとに入れ替え)	安曇野ちひろ美術館
【企画展示】	谷内こうた展 風のゆくえ	谷内こうた(1947-2019)は、叔父谷内六郎のすすめで描いた初めての絵本『おじいさんのばいおりん』で1969年にデビューした。その後、『なつのあさ』が日本人として初めてポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞、早くから国内外で注目を集めた。本展では、絵本原画とともに、「週刊新潮」などの雑誌の表紙絵や終生手がけた油彩画も展示し、谷内こうたの画業を紹介する。	9月10日～11月29日	安曇野ちひろ美術館
【講演会】	「谷内こうた展」関連 講演会	谷内こうたをよく知る人に、谷内の人物像や仕事についての話や講演会を開催する。(含むオンラインでの開催)	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
	「絵本から飛び出せ！動物たち」関連 動物園の飼育員さんに聞いてみよう！絵本の動物たちのリアル	動物園の飼育員による、動物たちのリアルな生態の解説を通して、絵本に描かれた動物たちの魅力を紹介する。(含むオンラインでの開催)	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。(含むオンラインでの開催)	随時	安曇野ちひろ美術館
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	随時	安曇野ちひろ美術館
<b>■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等</b>				
【展覧会】	いわさきちひろ展 中谷泰を師として	ちひろが画家として歩み始める前、大きな影響を受けたひとりに洋画家・中谷泰の存在があった。本展では、作品や資料をもとに、ふたりの画家の共通点と独自性をさぐり、知られざる側面に光を当てる。	7月16日～8月28日	三重県立美術館(三重県津市)
	ちひろとまこと 仕事と生活	ちひろの黒姫山荘の設計や、練馬の自宅の増築にも関わった奥村まこと。自らの日常を大切にしながらも、仕事も存分にした画家・ちひろと、建築家・奥村まことの、仕事と生き方にフォーカスする。	6月1日～9月2日	ギャラリーエークウッド(東京都江東区)
	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。	通年 2023年2月11日～3月5日	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市) パレア若狭 ギャラリー(福井県若狭町)
	他館での展覧会への作品の出展	他館からの求めに応じて、他館での展覧会へ当館所蔵作品を出展する。	随時	
【ギャラリートーク等】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。(含むオンラインでの開催)	随時	

**イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究**

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。コレクション画家の手がけた絵本資料の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブスを、災害時対応にも備えつつ、進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	両館で開催する展示、ならびに他館と提携して行う展覧会において、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。特にエリック・カール、谷内こうた等の作品について展覧会とあわせて調査を進める。	通年	両館
	作品・資料等のアーカイブス	DBシステムに登録した作品(原画とピエゾグラフ)、図書、遺品など資料のさらなるデータ整備を進め、展示やさまざまな企画等の充実と合理化を進める。機関アーカイブスの整理を進め、望ましい管理システムについても引き続き調査する。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	絵本とイラストレーションの歴史に関する資料の整理、調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について、外部の研究者とも連携しながら調査・研究を進める。	通年	両館
	研究成果の公開 公式サイトでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、公式サイトにアップロードし、国内外にむけて発信していく。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(展示会期ごと)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、展覧会にあわせて発行する「美術館だより」や公式サイトを通じて、公開していく。	通年	両館

#### ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。	各展示会会期中1回(年3回)	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。(含むオンラインでの開催)	冬	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。(含むオンラインでの開催)	冬	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座 親業講演会 「—今日から実践できる— 子どもに気持ちが伝わる話し方」	「親業訓練」を通して、親子のよりよいコミュニケーションを学ぶ(講師:田中満智子・親業訓練協会インストラクター)。	秋	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんと保護者のための鑑賞会	「ベビーカーでお出かけしよう!」と題して、乳幼児とその保護者を対象に、子どもといっしょに美術館を楽しめる、ファーストミュージアムデーを、長野県の「いい育児の日」の11月19日を含め、年2回開催し、展示を中心に館内各所での鑑賞会や、絵本の読み合い、ふれあい遊びを行う。(含むオンラインでの開催)	年2回	安曇野ちひろ美術館
	ちひろが愛した映画上映会	「ちひろが描いた映画と音楽」展に関連して、ちひろが愛した映画の上映会を行う。	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション画家によるアトリエトーク	ちひろ美術館が作品を収蔵している世界のコレクション画家のアトリエから、画家自身が作品や制作について語る。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、『窓ぎわのトットちゃん』のさまざまなエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の人々や地元の学校の協力を得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	「絵本画家の絵の宝箱」関連ワークショップ	絵本画家たちの技法を体験できるワークショップを行う。(含むオンラインでの開催)	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
ちひろ忌	ちひろが世を去った8月8日にあわせてギャラリートーク等を行い、ちひろの業績や人生を伝えるとともに、世界中の子どものしあわせと平和を願ったちひろの思いを、来館者とともに考える機会とする。(含むオンラインでの開催)	8月8日	両館	
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	松川中学校と連携し、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ等の活動を行ない、キャリア教育の機会としてもらう。(含むオンラインでの開催)	夏休み期間中	安曇野ちひろ美術館
	出前授業、出前講座	ちひろの画業や絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前授業、出前講座を、学校等に出向いて実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	両館
	スクールミュージアム	長野県内の希望校を対象に、複製画等の貸し出しを行い、生徒キュレーターとして生徒の力で展覧会が開催できるよう展覧会のつくり方を指導し、キャリア教育の機会としてもらう。	随時	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
学校との提携活動	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入	練馬区近辺、松川村近辺の中学・高等学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館

### エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション画家・企画展画家・その他の世界の絵本画家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、公式サイト等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスをを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
読み聞かせ会	絵本のじかん(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
	原語のおはなしの会(絵本の読み聞かせ)	コレクション画家の原語での読み聞かせ会を開催し、各国の文化や暮らしなども紹介する。また、外国語に翻訳されたちひろの絵本を、その国の人に読んでもらう。	随時	安曇野ちひろ美術館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
	施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの開催	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設ける。求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内医療型短期入所施設「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

### オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	韓国におけるいわさきちひろ展開催への準備	韓国のGlintが管轄するギャラリー-piknicにおける、いわさきちひろ展開催へむけた準備を行う。	随時	両館
海外からの研修受入と交流	海外の絵本関係者の研修・交流	海外の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に、求めに応じて絵本に関する研修を受け入れる。あわせて地元の子供たちとの交流を行い、相互理解と、絵本文化の普及・発展を促進する(含むオンラインでの実施)。	随時	両館
	アジアや世界の絵本関係者との相互学習	世界初の絵本美術館として、アジアや世界の絵本の図書館、美術館関係者と、お互いの展示の経験、運営や理念等を共有し相互向上を図る(含むオンラインでの実施)。	随時	両館
	館の多言語情報のより多面的な発信とコンテンツの充実	さまざまな国や言語の来館者に対応すべく、館や展示の紹介等を、動画、印刷物、公式サイトなどさまざまな媒体を通して、魅力的効率的に発信していく。	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本や子どもの本の専門機関との提携活動	絵本や子どもの本の国際的専門機関であるIBBY(International Board on Books for Young People)とその日本支部のJBBY、シンガポールのAFCC(Asian Festival of Children's Content)、インドネシアのTacita(Pesta Cerita Anak, Indonesian Children's Story Festival)、スロヴァキアのBIB(Biennale of Illustrations, Bratislava)等、日本国内の絵本学会、絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化発展のための交流、相互協力に努める。	随時	両館
	絵本美術館ネットワークづくり	国を超えた絵本美術館のネットワークづくりのための調査、交流等を行う。	随時	両館

### カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かして研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に、求めに応じて、絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
	展覧会鑑賞のバリアフリー化	東京・安曇野ともに、日本語を母語としない方や、視覚・聴覚障害をお持ちの方を対象に、スマートフォンからの音声や文字情報による解説を多言語で提供し、利用者のニーズに応じていく。また、両館ともに、障害者手帳提示の方と介添え1名までの入館料を無料とするなど、様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのバリアフリー化を進める。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の子育て支援団体や保護者らのグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館

取1

その他の法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
------------------------	---------------	--	----	----